

令和4年度 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1)貸借対照表

令和5年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	346.9 億円 (+ 37.5)	固定負債	159.4 億円 (▲ 1.1)
うち、土地	23.7 億円 (± 0.0)	流動負債	71.6 億円 (+ 26.9)
建物	88.5 億円 (▲ 5.9)		
器械備品	32.3 億円 (+ 7.8)		
投資有価証券	160.0 億円 (+ 0.0)		
流動資産	100.1 億円 (▲ 8.7)		
うち、現金及び預金	54.2 億円 (▲ 8.3)		
計	447.0 億円 (+ 28.9)		
		【純資産の部】	
		資本金	108.6 億円 (± 0.0)
		資本剰余金	112.3 億円 (+ 6.3)
		繰越欠損金	▲ 4.9 億円 (▲ 3.3)
		計	447.0 億円 (+ 28.9)

(2)損益計算書

令和4年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	273.6 億円 (+ 2.9)
営業収益	270.9 億円 (+ 3.8)
営業外収益	2.2 億円 (+ 0.0)
臨時利益	0.5 億円 (▲ 0.8)
費用総額	276.8 億円 (+ 13.3)
営業費用	258.6 億円 (+ 9.7)
営業外費用	17.7 億円 (+ 4.5)
臨時損失	0.5 億円 (▲ 0.9)
当期純損失	▲ 3.2 億円 (▲ 10.3)
当期総損失	▲ 3.2 億円 (▲ 10.3)

(3)キャッシュ・フロー計算書

令和4年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	21.5 億円 (▲ 0.5)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 42.5 億円 (▲ 38.5)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	12.7 億円 (+ 14.6)
IV 資金増加額	▲ 8.3 億円 (▲ 24.5)
V 資金期首残高	62.5 億円 (+ 16.2)
VI 資金期末残高	54.2 億円 (▲ 8.3)

(4)行政コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 損益計算書上の費用	276.8 億円 (+ 13.3)
II その他行政コスト	0.4 億円 (▲ 0.1)
(1)減価償却相当額	0.4 億円 (▲ 0.1)
III 行政コスト	277.2 億円
IV 自己収入等	▲ 243.4 億円 (+ 0.9)
V 機会費用	0.8 億円 (+ 0.1)
VI 住民等の負担に帰せられるコスト	34.6 億円 (+ 14.2)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ ()が無い項目は今年度新たに記載することとなった項目

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和4年度純損失…………… ▲324,323千円 → ▲1,038,279千円(対前年度差額)
 (令和3年度純利益…………… 713,956千円)

- ・収益については、入院診療単価の増加や外来患者の増加により、前年度比で約1.1%の増加となった。
- ・費用については、給与費や経費の支出増に加え、設備投資による消費税増により、前年度比で約5.0%の増加となった。
- ・収支差については、令和3年度の黒字から令和4年度は赤字へと悪化した。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4/R3	参 考
収益	241.8	252	248	270.7	273.6	101%	診療単価 (R3) (R4)
営業収益	239.0	249.7	245.9	267.1	270.9	101%	入院(重心以外) 94,528円 → 96,853円
うち入院収益	159.9	165.0	152.9	172.0	170.7	99%	入院(重心) 35,364円 → 34,803円
うち外来収益	59.8	62.7	59.2	64.5	66.3	103%	外来 19,194円 → 19,189円
うち運営費負担金	12.4	14.9	15.6	15.8	16.7	106%	
うち補助金収益	1.1	1.1	12.2	8.6	10.4	121%	患者数 (R3) (R4)
うち重症心身障がい児施設収益	1.7	1.8	1.5	1.7	1.4	82%	入院(重心以外) 180,983人 → 175,532人
営業外収益	2.2	2.3	2.1	2.2	2.2	100%	入院(重心) 3,242人 → 2,582人
うち運営費負担金	1.2	1.2	1.1	1	0.9	90%	外来 335,788人 → 345,196人
臨時利益	0.6	0.0	0.0	1.3	0.5	38%	
費用	241.5	252.6	253.8	263.5	276.8	105%	一般病床利用率 (R3) (R4)
営業費用	230.2	240.7	240.8	248.9	258.6	104%	重心以外 84.0% → 81.6%
うち給与費	107.1	111.7	116.2	118.3	123.5	104%	重心 29.6% → 23.5%
うち材料費	65.5	70.0	65.1	73.6	73.5	100%	
うち経費	32.8	33.2	33.9	36.3	39.9	110%	
うち減価償却費	20.4	20.9	21.2	15.8	15.8	100%	
うち重症心身障がい児施設費用	3.0	3.6	3.6	3.7	4.7	127%	
営業外費用	10.0	11.8	12.6	13.2	17.7	134%	
うち支払利息	1.8	1.7	1.5	1.4	1.3	93%	
うち控除対象外消費税等	8.2	10.1	11.1	11.7	16.3	139%	
臨時損失	1.3	0.0	0.4	1.4	0.5	36%	
収支差	0.3	▲ 0.6	▲ 5.8	7.2	▲ 3.2	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (1.3億円減) 患者数の減少によるもの
 うち外来収益 (1.7億円増) 患者数の増加によるもの
 うち補助金収益 (1.8億円増) 新型コロナ関連補助金の増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (5.1億円増) 職員数の増加によるもの
 うち経費 (3.6億円増) 光熱水費(電気、ガス)の増加によるもの

ウ 営業外費用

うち控除対象外消費税等 (4.6億円増) 高額な設備投資(電子カルテ更新、南棟建設)によるもの